

Case : 311

キャスタにゴミが絡まり、転倒しそうになる

場面の説明

歩行器のキャスタの軸の部分にゴミ等が絡まって動きが悪くなり、歩こうとしたが急制動がかかり、前方へバランスを崩した



利用シーン	 移動
主な利用場所	 リビング・居間
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

人の長い髪や動物の毛、糸くず、ホコリなどが散乱している自宅等においては、長期間の歩行器の使用で、キャスタ軸の部分に髪の毛やほこり等が絡まってきます。その結果、キャスタの回転が鈍ったり、急制動を起こしてバランスを崩すようになることがあります。定期的にキャスタの軸のゴミ等を取り、左右の回転を確認しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：キャスタのメンテナンスができていなかった
- 人：本人が虚弱な為に掃除ができなかった
- 環境：人の長い髪や動物の毛、糸くず、ホコリなどが散乱していた
- 管理：定期的なメンテナンスのルールを決めていなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 311

キャスタにゴミが絡まり、転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

歩行器のキャスタの軸の部分にゴミ等が絡まって動きが悪くなり、歩こうとしたが急制動がかかり、前方へバランスを崩した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ